■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	無期限（設定日：2011年８月31日）
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、主としてインドの中型株式等に投資し、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	当ファンドは以下の投資信託証券を主要投資対象とします。 **コタック・ファンズ－インディア・ミッドキャップ・ファンド（クラスX）** インドの市場で上場または取引されている株式 **マネー・マーケット・マザーファンド** 円貨建ての短期公社債および短期金融商品
当ファンドの運用方法	■インドの中型株式を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を目指します。 ■インドの代表的な総合金融グループの一つであるコタック・マヒンドラ・グループが実質的な運用を行います。 ■原則として、対円での為替ヘッジは行いません。
組入制限	■外貨建資産への直接投資は行いません。
分配方針	■年４回（原則として毎年２月、５月、８月、11月の27日。休業日の場合は翌営業日）決算を行い、分配を行います。 ■分配対象額は、経費控除後の利子、配当等収益と売買益（評価損益を含みます。）等の範囲内とします。 ■分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。 ※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

高成長インド・中型株式ファンド

【運用報告書（全体版）】

第30作成期（2026年２月28日から2026年８月27日まで）

第59期／第60期

第59期：決算日 2026年５月27日
第60期：決算日 2026年８月27日

受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

当ファンドは投資信託証券への投資を通じて、主としてインドの中型株式等に投資し、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。当作成期についても、運用方針に沿った運用を行いました。

今後ともご愛顧のほどお願い申し上げます。

三井住友DSアセットマネジメント株式会社

〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1
https://www.smd-am.co.jp

■口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ
お取引のある販売会社へお問い合わせください。

■当運用報告書についてのお問い合わせ

コールセンター　0120-88-2976
受付時間：午前9時～午後5時（土、日、祝・休日を除く）

原則として、各表の数量および金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しています。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

最近10期の運用実績

決算期	基準価額			公社債組入比率	投資信託証券組入比率	純資産総額
	(分配落)	税込分配金	期中騰落率			
	円	円	%	%	%	百万円
51期 (2024年５月27日)	14,588	200	11.4	0.0	96.1	260,701
52期 (2024年８月27日)	14,484	200	0.7	0.0	96.8	245,877
53期 (2024年11月27日)	14,922	200	4.4	0.0	96.9	235,557
54期 (2025年２月27日)	12,250	200	△16.6	0.0	97.2	179,536
55期 (2025年５月27日)	12,879	200	6.8	0.0	96.2	177,550
56期 (2025年８月27日)	13,027	200	2.7	0.0	96.8	183,889
57期 (2025年11月27日)	13,819	200	7.6	0.0	96.3	189,182
58期 (2026年２月27日)	13,366	200	△ 1.8	0.0	96.5	178,438
59期 (2026年５月27日)	12,614	200	△ 4.1	0.0	96.0	158,667
60期 (2026年８月27日)	13,378	200	7.6	0.0	97.0	154,079

※基準価額の騰落率は分配金込み。
※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。
※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

当作成期中の基準価額と市況等の推移

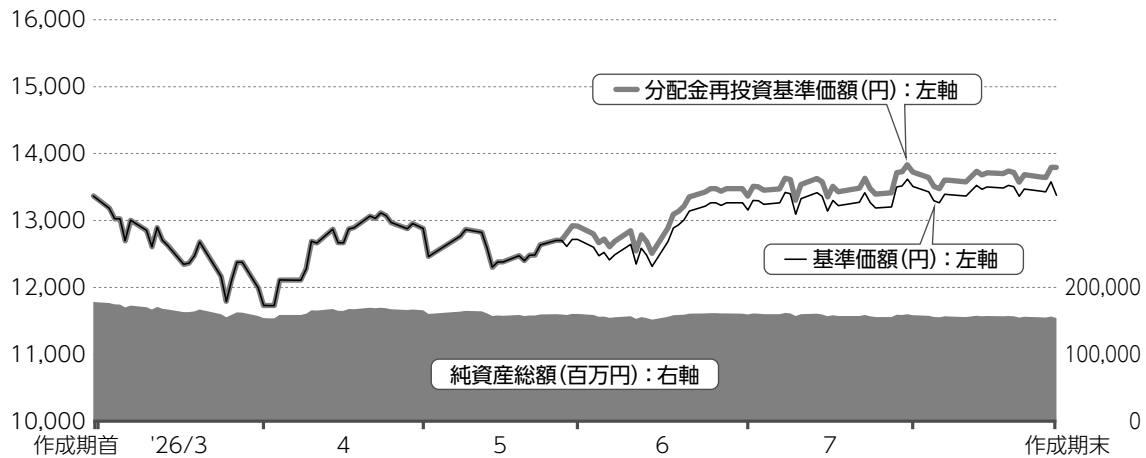
決算期	年月日	基準価額		公社債組入比率	投資信託証券組入比率
			騰落率		
	(期首)	円	%	%	%
	2026年２月27日	13,366	－	0.0	96.5
第59期	３月末	11,731	△12.2	0.0	96.0
	４月末	12,879	△ 3.6	0.0	97.3
	(期末) 2026年５月27日	12,814	△ 4.1	0.0	96.0
	(期首) 2026年５月27日	12,614	－	0.0	96.0
第60期	５月末	12,717	0.8	0.0	95.9
	６月末	13,156	4.3	0.0	96.9
	７月末	13,509	7.1	0.0	97.8
	(期末) 2026年８月27日	13,578	7.6	0.0	97.0

※期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。
※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

1 運用経過

基準価額等の推移について（2026年２月28日から2026年８月27日まで）

基準価額等の推移



※分配金再投資基準価額は、作成期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

作成期首	13,366円
作成期末	13,378円 (当作成期既払分配金400円(税引前))
騰 落 率	+3.2% (分配金再投資ベース)

分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※分配金を再投資するかどうかについては、受益者の皆さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などによって課税条件も異なります。したがって、受益者の皆さまの損益の状況を示すものではありません。(以下、同じ)

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

基準価額の主な変動要因(2026年２月28日から2026年８月27日まで)

当ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、主としてインドの取引所に上場している中型株式等に投資しました。実質組入外貨建資産については、対円での為替ヘッジを行いませんでした。

上昇要因

●４月以降、中東情勢による原油価格の乱高下や米国の長期金利の上昇など不透明感が残る中、堅調なファンダメンタルズ(基礎的条件)を背景にインド中型株が上昇したこと

下落要因

●２月末からの米国とイスラエルによるイランへの軍事攻撃を受けて、地政学リスクや原油高による悪影響が意識され、３月にインド中型株が下落したこと
●期を通じてみると、インドルピーが円に対して下落したこと

投資環境について（2026年２月28日から2026年８月27日まで）

インド中型株市場は上昇しました。また期を通じてみると、インドルピーは対円で下落しました。

株式市場

期初から３月末にかけては、米国とイスラエルによるイランへの軍事攻撃に伴う地政学リスクの高まりや原油価格の急騰などを背景に、世界的に株式市場が急落し、インド中型株市場も下落しました。４月には米国とイランの停戦合意期待が強まったことなどから、インド中型株市場は急反発しました。その後は、中東情勢と原油価格の動向をにらんだ動きとなりましたが、国内投資家の底堅い資金流入などにより、インド中型株は上昇基調を継続しました。これまで資金流出が続いていた外国人投資家も、７月以降は買い越しに転じていることも株価上昇の下支えとなりました。

為替市場

米ドル・円は、日本の財政運営への懸念や日銀の慎重な金融政策姿勢が意識されたことに加え、中東情勢や米金利上昇観測を受けて、７月下旬まで米ドル高・円安基調となりました。その後、日米通貨当局が円買いの協調介入を実施したことから急速に円高が進む展開となりましたが、期を通じてみると、米ドル高・円安となりました。また米ドル・インドルピーは、中東情勢の悪化で原油価格が高騰し、インドの経常収支の悪化懸念などから５月中旬まで急速に米ドル高・インドルピー安が進行しました。その後は乱高下しながらもほぼ横ばいとなりました。

結果として、期を通じてみると、インドルピーは円に対して下落しました。

ポートフォリオについて（2026年２月28日から2026年８月27日まで）

当ファンド

期を通じて、「コタック・ファンズ－インディア・ミッドキャップ・ファンド（クラスＸ）」を高位に組み入れました。

コタック・ファンズ－インディア・ミッドキャップ・ファンド（クラスＸ）

●株式組入比率

期を通じて、中長期で魅力的と判断する銘

柄を組み入れることで、株式組入比率を高位に維持しました。

●業種配分

期を通じて、一般消費財、ヘルスケア、生活必需品などの組入比率を相対的に高く維持した一方、公益、資本財、エネルギーなどは低位の組み入れとしました。

●個別銘柄

ＩＴサービス企業のCoforge、眼鏡・コンタクトレンズなどのアイウエアを製造・販売しているLenskart Solutions、ポリマー製品を主とした化学企業のTime Technoplastなどの新規組み入れを行った一方、先行きに不透明感が強まったBirlasoftやMotherson Sumi Wiringなどを売却しました。

マネー・マーケット・マザーファンド

主として、円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資し、安定した収益の確保を目指した運用を行いました。

ベンチマークとの差異について（2026年２月28日から2026年８月27日まで）

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

分配金について（2026年２月28日から2026年８月27日まで）

（単位：円、１万口当たり、税引前）

項　目	第59期	第60期
当期分配金	200	200
（対基準価額比率）	（1.56%）	（1.47%）
当期の収益	－	25
当期の収益以外	200	174
翌期繰越分配対象額	3,653	3,481

期間の１万口当たりの分配金（税引前）は、基準価額水準等を勘案し、左記の通りといたしました。

なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用いたします。

※単位未満を切り捨てているため、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。
※「対基準価額比率」は、「当期分配金」（税引前）の期末基準価額（分配金（税引前）込み）に対する比率で、当ファンドの収益率とは異なります。

2 今後の運用方針

当ファンド

引き続き、「コタック・ファンズ－インディア・ミッドキャップ・ファンド(クラスX)」を高位に組み入れて運用を行います。

コタック・ファンズ－インディア・ミッドキャップ・ファンド(クラスX)

引き続き、米国金利、原油価格、地政学リスク、ＡＩ関連取引の変動などの外部要因が、インド株式市場の短期的な値動きに影響を与えやすい局面が続くと考えられます。一方で、インド経済は相対的に良好な成長基調を維持しています。企業業績についても幅広いセクターで上方修正の動きがみられ、利益成長への信頼感は高まりつつあると考えます。

短期的には海外投資家フローや米国金融政策、原油価格の動向に左右される展開が想定されますが、インド株式の中長期的な投資魅力は維持されていると考えます。外部環境の不確実性に留意しつつ、堅固な収益基盤、財務健全性、持続的な成長力を有する企業を重視し、金融、内需、設備投資関連を中心に、分散を意識した選別的な投資を継続する方針です。

マネー・マーケット・マザーファンド

円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資し、安定した収益の確保を目指します。

3 お知らせ

約款変更について

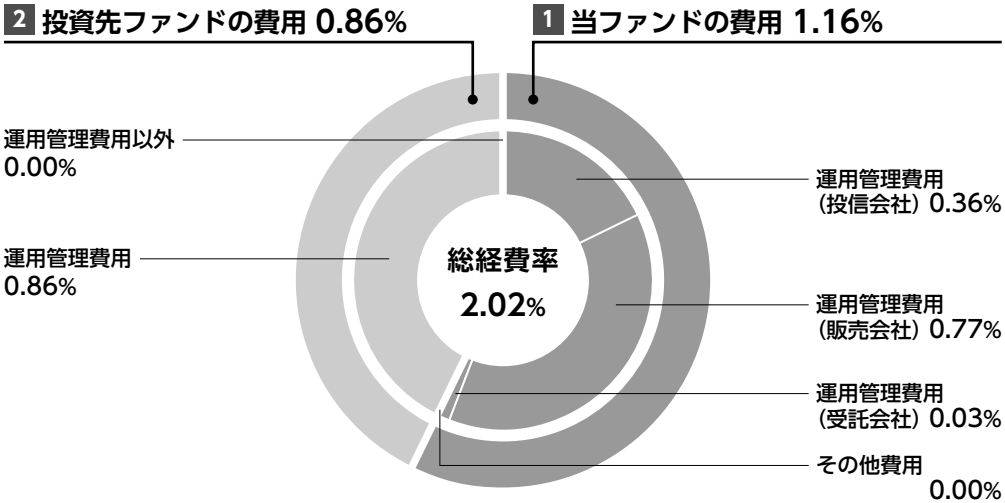
●「一般社団法人投資信託協会」を「一般社団法人資産運用業協会」へ名称を変更することとなったため、信託約款に所要の変更を行いました。（適用日：2026年４月１日）

1万口当たりの費用明細(2026年2月28日から2026年8月27日まで)

項　目	金額	比率	項目の概要
(a) 信　託　報　酬	**74円**	**0.576%**	**信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×(経過日数／年日数)** **期中の平均基準価額は12,872円です。**
(投信会社)	(23)	(0.177)	投信会社：ファンド運用の指図等の対価
(販売会社)	(49)	(0.382)	販売会社：交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(2)	(0.016)	受託会社：ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	**－**	**－**	**売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数**
(株　式)	(－)	(－)	売買委託手数料：有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(先物･オプション)	(－)	(－)	
(投資信託証券)	(－)	(－)	
(c) 有価証券取引税	**－**	**－**	**有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数**
(株　式)	(－)	(－)	有価証券取引税：有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(公社債)	(－)	(－)	
(投資信託証券)	(－)	(－)	
(d) そ の 他 費 用	**0**	**0.000**	**その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数**
(保管費用)	(－)	(－)	保管費用：海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送回金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.000)	監査費用：監査法人に支払うファンドの監査費用
(そ の 他)	(－)	(－)	そ の 他：信託事務の処理等に要するその他費用
合　　計	**74**	**0.576**	

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。
※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。
※各項目毎に円未満は四捨五入しています。
※売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
※各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

参考情報 総経費率(年率換算)



総経費率(1+2)		2.02%
1	当ファンドの費用の比率	1.16%
2	投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.86%
	投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.00%

※1の各費用は、前掲「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、各比率は、年率換算した値(小数点以下第2位未満を四捨五入)です。「1万口当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。

※2の投資先ファンド(当ファンドが組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く))の費用は、シェアクラスの経費率です。運用管理費用と運用管理費用以外の費用を、目論見書に記載している料率にもとづき区別しています。投資先ファンドへの平均投資比率を勘案して、実質的な費用を計算しています。

※1と2の費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。また、計上された期間が異なる場合があります。

※上記の前提条件で算出している参考値であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した比率に、投資先ファンドの経費率を加えた総経費率(年率)は2.02%です。

当作成期中の売買及び取引の状況(2026年２月28日から2026年８月27日まで)

投資信託証券

		当作成期			
		買付		売付	
		口数	買付額	口数	売付額
		口	千円	口	千円
国内	コタック・ファンズ－インディア・ミッドキャップ・ファンド（クラスＸ）	－	－	365,969	26,877,000

※金額は受渡し代金。
※国内には、円建ての外国籍投資信託証券を含みます。

利害関係人との取引状況等(2026年２月28日から2026年８月27日まで)

利害関係人との取引状況

高成長インド・中型株式ファンド

当作成期中における利害関係人との取引等はありません。

マネー・マーケット・マザーファンド

区分	当作成期					
	買付額等 A	うち利害関係人との取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害関係人との取引状況D	D/C
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
公社債	2,282	1,129	49.5	－	－	－

※平均保有割合　1.5%
※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託および投資法人に関する法律第11条第１項に規定される利害関係人であり、当作成期における当ファンドに係る利害関係人とは、ＳＭＢＣ日興証券株式会社です。

第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況

(2026年２月28日から2026年８月27日まで)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

組入れ資産の明細(2026年８月27日現在)

(１)ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	作成期首	作成期末		
	口数	口数	評価額	組入比率
	口	口	千円	%
コタック・ファンズー インディア・ミッドキャップ・ファンド（クラスＸ）	2,279,947.5973	1,913,977.7681	149,487,466	97.0
合計	2,279,947.5973	1,913,977.7681	149,487,466	97.0

※組入比率は、純資産総額に対する評価額の比率。

(２)親投資信託残高

種類	作成期首	作成期末	
	口数	口数	評価額
	千口	千口	千円
マネー・マーケット・マザーファンド	17,711	17,711	17,833

※マネー・マーケット・マザーファンドの作成期末の受益権総口数は1,207,872,716口です。

投資信託財産の構成

(2026年８月27日現在)

項目	作成期末	
	評価額	比率
	千円	%
投資証券	149,487,466	94.8
マネー・マーケット・マザーファンド	17,833	0.0
コール・ローン等、その他	8,195,843	5.2
投資信託財産総額	157,701,143	100.0

資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2026年５月27日)(2026年８月27日)

項目	第59期末	第60期末
(A) 資産	162,557,040,963円	157,701,143,565円
コール・ローン等	9,422,864,360	8,195,843,741
投資証券(評価額)	152,322,384,000	149,487,466,486
マネー・マーケット・マザーファンド(評価額)	17,792,603	17,833,338
未収入金	794,000,000	－
(B) 負債	3,889,667,920	3,621,451,933
未払収益分配金	2,515,809,383	2,303,512,774
未払解約金	908,508,607	855,857,626
未払信託報酬	464,992,430	461,724,033
その他未払費用	357,500	357,500
(C) 純資産総額(A－B)	158,667,373,043	154,079,691,632
元本	125,790,469,156	115,175,638,730
次期繰越損益金	32,876,903,887	38,904,052,902
(D) 受益権総口数	125,790,469,156口	115,175,638,730口
１万口当たり基準価額(C/D)	12,614円	13,378円

※当作成期における作成期首元本額133,499,008,322円、作成期中追加設定元本額3,783,363,458円、作成期中一部解約元本額22,106,733,050円です。
※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の６第10号に規定する額(元本の欠損)となります。
※上記表中の受益権総口数および１万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の６第７号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

損益の状況

項目	第59期 (自2026年２月28日 至2026年５月27日)	第60期 (自2026年５月28日 至2026年８月27日)
(A) 配当等収益	452,513,911円	305,230,589円
受取配当金	442,393,863	293,428,306
受取利息	10,120,048	11,802,283
(B) 有価証券売買損益	△6,872,191,703	11,174,872,493
売買益	683,950,907	11,780,038,355
売買損	△7,556,142,610	△605,165,862
(C) 信託報酬等	△465,349,930	△462,081,533
(D) 当期損益金(A+B+C)	△6,885,027,722	11,018,021,549
(E) 前期繰越損益金	25,830,789,978	14,884,187,608
(F) 追加信託差損益金	16,446,951,014	15,305,356,519
(配当等相当額)	(16,421,934,588)	(15,390,927,770)
(売買損益相当額)	(25,016,426)	(△85,571,251)
(G) 合計(D+E+F)	35,392,713,270	41,207,565,676
(H) 収益分配金	△2,515,809,383	△2,303,512,774
次期繰越損益金(G+H)	32,876,903,887	38,904,052,902
追加信託差損益金	16,446,951,014	15,305,356,519
(配当等相当額)	(16,421,934,666)	(15,390,927,811)
(売買損益相当額)	(25,016,348)	(△85,571,292)
分配準備積立金	29,529,563,365	24,710,615,013
繰越損益金	△13,099,610,492	△1,111,918,630

※**有価証券売買損益**は各期末の評価換えによるものを含みます。
※株式投信の**信託報酬等**には消費税等相当額が含まれており、公社債投信には内訳の一部に消費税等相当額が含まれています。
※**追加信託差損益金**とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
※分配金の計算過程は以下の通りです。

	第59期	第60期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円	292,976,019円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0
(c) 収益調整金	16,421,934,666	15,390,927,811
(d) 分配準備積立金	32,045,372,748	26,721,151,768
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	48,467,307,414	42,405,055,598
１万口当たり当期分配対象額	3,853.02	3,681.77
(f) 分配金	2,515,809,383	2,303,512,774
１万口当たり分配金	200	200

分配金のお知らせ

１万口当たり分配金(税引前)	第59期	第60期
	200円	200円

※分配金は、分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額「普通分配金」となり課税されます。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は下回る部分が「元本払戻金（特別分配金)」となり非課税、残りの部分が「普通分配金」となります。

上記のほか、投資信託財産の計算に関する規則第58条第１項各号に該当する事項はありません。

組入れ投資信託証券の内容

投資信託証券の概要

ファンド名	コタック・ファンズ－インディア・ミッドキャップ・ファンド（クラスＸ）
形態	ルクセンブルグ籍会社型投資信託（円建て）
主要投資対象*	インドの市場で上場または取引されている株式を主要投資対象とします。
運用の基本方針*	主としてインドの中型株式等に投資を行い、信託財産の中長期的な成長を目指します。また、大型株式へ投資することがあります。原則として対円での為替ヘッジは行いません。
主な投資制限	●同一発行体の有価証券への投資割合は、原則として純資産総額の10%以内とします。 ●有価証券の空売りは行いません。 ●純資産総額の10%を超える借入れを行いません。
分配方針	毎年２月、５月、８月、11月の10日（休業日の場合は前営業日）に分配を行う方針です。
運用管理費用	純資産総額に対して 運用報酬　年0.75%程度 管理費用　年0.05%程度 保管費用　年0.04%程度 事務代行費用　年0.05%程度 ※また、年間最低報酬額や取引ごとにかかる費用等が定められている場合があるため、純資産総額の規模や取引頻度等によっては、上記の各料率を上回ることがあります。
その他の費用	ファンドの設立費用、取引関連費用、法的費用、会計・監査および税務上の費用ならびにその他の費用を負担します。 これらは、ファンドの運営状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。
申込手数料	ありません。
スイング・プライス	ファンドの買付け、売却額の差額が、ファンドの時価総額に対して一定の割合を超過する場合、予想される取引スプレッド、コスト、その他の要因を考慮して、その売買価格が調整され、ファンドの基準価額に反映されることがあります。
投資顧問会社	コタック・マヒンドラ・アセット・マネジメント（シンガポール）
購入の可否	日本において一般投資者は購入できません。

＊従来、「インディア・ミッドキャップ（モーリシャス）リミテッド」への投資を通じてインドの中型株式等に投資する形態を取っていましたが、インドとモーリシャスの租税条約改正を受け、2026年８月現在、新規投資は「コタック・ファンズ－インディア・ミッドキャップ・ファンド（クラスＸ）」が直接インドの中型株式等に投資する方針となっています。

＊「インディア・ミッドキャップ（モーリシャス）リミテッド」は、2026年８月現在、清算手続き中のため記載しておりません。

以下には、「コタック・ファンズーインディア・ミッドキャップ・ファンド（クラスX）」をシェアクラスとして含む「コタック・ファンズーインディア・ミッドキャップ・ファンド」の情報を委託会社において抜粋、要約して翻訳したものを記載しています。

損益計算書(2025年12月31日に終了した期間)

（単位：米ドル）

収益	
配当収益(源泉税控除後)	20,124,461
銀行預金受取利息	1,204,225
収益合計	21,328,686
費用	
投資運用報酬	29,966,666
管理事務代行・保管報酬	1,231,355
監査報酬および専門家報酬	719,930
管理会社報酬	1,016,460
年次税	1,391,796
取引手数料	61,614
役員報酬	26,064
その他費用	133,961
費用合計	34,547,846
投資純損益	(13,219,160)
実現純損益：	
- 投資ポートフォリオ	330,971,806
- 先物契約	100,158
- 外国為替取引	(70,842,478)
- キャピタル・ゲイン税	12,861,270
実現純損益	273,090,756
未実現損益の純変動額：	
- 投資ポートフォリオ	(397,416,714)
- 外国為替取引	101,311
未実現損益の純変動額	(397,315,403)
営業損益	(137,443,807)

投資明細表(2025年12月31日現在)

※下記明細表中の資産名・国名の日本語表記については、末尾の【英語表記変換表】にてご確認いただけます。

株数/額面	銘柄名	時価（単位：米ドル）	純資産構成比（%）
	Transferable securities and money market instruments admitted to an official exchange listing or dealt in on another regulated market		
	Equities		
	India		
500,000	Alkem Laboratories	30,641,885	0.88
1,365,000	Apollo Hospitals Enterprise	106,986,589	3.08
9,038,869	Apollo Tyres	50,298,372	1.45
35,535,188	Ashok Leyland	70,866,702	2.04
114,489	Atul	7,824,790	0.23
5,545,000	AU Small Finance Bank	61,372,833	1.77
419,734	Avenue Supermarts	17,668,044	0.51
1,700,000	Axis Bank	24,016,917	0.69
8,163,813	Bharat Electronics	36,306,833	1.05
2,892,767	Bharti Hexacom	58,648,937	1.69
5,000,000	Birlasoft	24,111,739	0.69
4,600,000	Brigade Enterprises	45,307,587	1.31
681,455	Britannia Industries	45,740,020	1.32
918,000	BSE	26,892,514	0.77
3,799,986	Carborundum Universal	36,197,190	1.04
1,297,590	Cello World	7,829,369	0.23
2,988,617	Cholamandalam Investment & Finance	56,617,499	1.63
11,400,000	City Union Bank	36,895,134	1.06
1,728,833	Coromandel International	43,607,324	1.26
3,201,882	Crompton Greaves Consumer Electricals	8,988,896	0.26
2,050,000	Cummins India	101,171,587	2.92
4,437,480	Dabur India	24,870,927	0.72
1,950,642	Dalmia Bharat	46,260,516	1.33
476,931	Dixon Technologies India	64,236,598	1.85
900,000	Emami	5,294,677	0.15
38,327,524	Eternal	118,605,137	3.42

株数/額面	銘柄名	時価（単位：米ドル）	純資産構成比（%）
	Transferable securities and money market instruments admitted to an official exchange listing or dealt in on another regulated market		
	Equities (continued)		
	India (continued)		
3,040,000	Exide Industries	12,254,395	0.35
20,400,000	Federal Bank	60,642,052	1.75
8,800,000	Fortis Healthcare	86,577,446	2.50
1,962,220	GE Vernova T&D India	68,408,271	1.97
900,000	Havells India	14,272,391	0.41
1,850,431	HDFC Asset Management	55,031,543	1.59
7,230,562	Hindustan Petroleum	40,159,283	1.16
37,475	Honeywell Automation India	13,682,061	0.39
945,911	ICICI Prudential Asset Management	28,014,399	0.81
3,150,000	Ipca Laboratories	49,743,023	1.43
820,298	JK Cement	50,494,624	1.46
4,417,491	JK Tyre & Industries	24,714,646	0.71
6,975,000	Jubilant Foodworks	43,362,566	1.25
1,118,000	Jubilant Pharmova	13,354,658	0.38
3,792,500	Jyoti CNC Automation	41,756,437	1.20
5,930,000	Laurus Labs	73,124,732	2.11
3,805,301	Mahindra Lifespace Developers	16,711,519	0.48
2,084,881	Mankind Pharma	50,966,207	1.47
3,809,000	Max Financial Services	70,870,440	2.04
10,031,179	Max Healthcare Institute	116,675,498	3.36
2,007,437	Metro Brands	26,968,389	0.78
8,994,423	Minda	57,468,610	1.66
26,525,430	Motherson Sumi Wiring India	14,323,629	0.41
1,990,000	Mphasis	61,817,846	1.78
703,579	Navin Fluorine International	46,355,835	1.34
1,700,000	Oberoi Realty	31,607,579	0.91

株数/額面	銘柄名	時価（単位：米ドル）	純資産構成比（%）
	Transferable securities and money market instruments admitted to an official exchange listing or dealt in on another regulated market		
	Equities (continued)		
	India (continued)		
310,600	Oracle Financial Services Software	26,572,240	0.77
3,550,000	PB Fintech	72,127,988	2.08
1,236,982	Persistent Systems	86,345,412	2.49
661,205	PI Industries	23,829,209	0.69
712,384	PNB Housing Finance	7,543,845	0.22
6,918,720	Poonawalla Fincorp	37,187,567	1.07
11,545,300	Rolex Rings	16,545,876	0.48
3,090,000	Sansera Engineering	57,671,517	1.66
11,839,165	Sapphire Foods India	33,869,479	0.98
4,200,000	SBI Cards & Payment Services	40,278,679	1.16
1,381,000	Schaeffler India	59,618,809	1.72
16,830,000	Shriram Finance	186,595,209	5.38
2,222,738	SRF	76,068,216	2.19
755,628	Supreme Industries	28,204,281	0.81
1,813,333	Swiggy	7,794,996	0.22
1,553,673	Tata Capital	5,911,056	0.17
4,145,000	Tech Mahindra	73,390,062	2.11
1,570,733	Thermax	52,838,792	1.52
1,663,797	Torrent Pharmaceuticals	71,290,375	2.05
2,539,134	TVS Motor	105,117,505	3.03
10,914,544	TVS Motor - Preference	1,214,718	0.04
1,963,774	United Breweries	35,443,113	1.02
4,556,525	United Spirits	73,211,710	2.11
6,174,125	V-Guard Industries	22,538,193	0.65
2,963,404	Voltas	44,893,414	1.29
	Total Equities	**3,572,718,956**	**102.96**

	時価 （単位：米ドル）	純資産構成比 （%）
Total Transferable securities and money market instruments admitted to an official exchange listing or dealt in on another regulated market	**3,572,718,956**	**102.96**
Total Investments	**3,572,718,956**	**102.96**
Other Net Assets and Liabilities	**(102,679,443)**	**(2.96)**
Net Asset Value	**3,470,039,513**	**100.00**

【英語表記変換表】

資産名	
Transferable securities and money market instruments admitted to an official exchange listing or dealt in on another regulated market	公認の証券取引所に上場されている、もしくは他の規制市場で取引されている譲渡可能な有価証券および短期金融商品
Equities	株式
Investments	投資
Net Assets	純資産
Liabilities	負債
Value	価値

国名	
India	インド

「インディア・ミッドキャップ（モーリシャス）リミテッド」は、2025年12月時点で、清算手続き中のため記載しておりません。

マネー・マーケット・マザーファンド

第15期（2025年３月４日から2026年３月２日まで）

信託期間	無期限（設定日：2011年５月31日）
運用方針	主として、円貨建の短期公社債および短期金融商品に投資し、安定した収益の確保を目指します。

原則として、各表の数量および金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しています。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

最近５期の運用実績

決算期	基準価額		公社債組入比率	純資産総額
		期中騰落率		
	円	%	%	百万円
11期(2022年３月１日)	9,994	△0.1	76.0	76
12期(2023年３月１日)	9,991	△0.0	74.7	76
13期(2024年３月１日)	9,986	△0.1	74.7	76
14期(2025年３月３日)	9,987	0.0	98.2	1,206
15期(2026年３月２日)	10,028	0.4	97.2	1,211

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

当期中の基準価額と市況等の推移

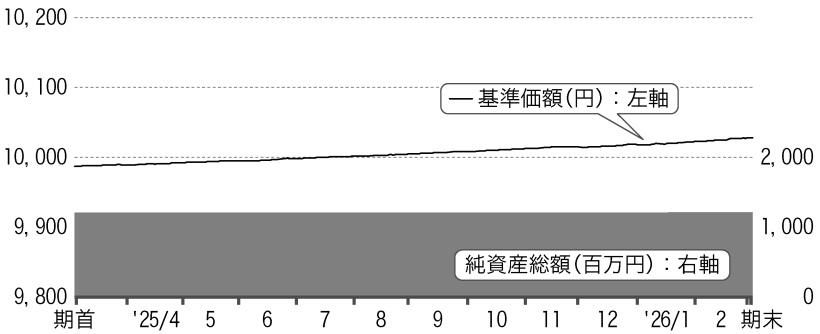
年月日	基準価額		公社債組入比率
		騰落率	
(期首)	円	%	%
2025年３月３日	9,987	－	98.2
３月末	9,989	0.0	98.2
４月末	9,992	0.1	98.0
５月末	9,995	0.1	97.9
６月末	9,998	0.1	97.7
７月末	10,002	0.2	97.7
８月末	10,005	0.2	97.6
９月末	10,008	0.2	97.5
10月末	10,013	0.3	97.5
11月末	10,015	0.3	97.4
12月末	10,018	0.3	97.3
2026年１月末	10,023	0.4	97.3
２月末	10,028	0.4	97.2
(期末)			
2026年３月２日	10,028	0.4	97.2

※騰落率は期首比です。

1 運用経過

▶ 基準価額等の推移について(2025年３月４日から2026年３月２日まで)

基準価額等の推移



期　首	9, 987円
期　末	10, 028円
騰 落 率	＋0. 4%

▶ 基準価額の主な変動要因(2025年３月４日から2026年３月２日まで)

当ファンドは、円建ての公社債および短期金融商品などへ投資しました。

上昇要因	・日銀が2025年12月に追加利上げを行ったことを受け、短期公社債や短期金融商品の利回りが上昇したこと

▶ 投資環境について(2025年３月４日から2026年３月２日まで)

短期金利は上昇しました。

食品価格の高止まりを背景にＣＰＩコア（生鮮食品除く消費者物価指数）は前年比＋２％以上での推移が継続しました。期末にかけては、ガソリン暫定税率の廃止や生鮮食品を除く食料品価格の伸び率縮小を背景に前年比＋２％まで低下しました。日銀は国内経済・物価が見通しに沿って推移していると判断し、12月に開催された金融政策決定会合で、日銀当座預金付利金利を0. 75％に引き上げることで無担保コール（金融機関同士のごく短期の資金の貸借）翌日物金利を0. 75％程度で推移するよう促すことを決定しました。

国庫短期証券３ヵ月物利回りは、トランプ政権による関税政策の影響や、国内の政治動向をにらみ一進一退の動きとなりましたが、日銀が利上げ姿勢を維持しているとの見方に変化はなく、期初から11月にかけては緩やかな上昇基調で推移しました。その後は、利上げの地均しともとれる観測報道が相次ぎ、実際に12月に行われた金融政策決定会合では利上げが決定されたことから、利回りは上昇基調で推移しました。期末にかけても、日銀が利上げ姿勢を維持しているとの見方に変化はなく、利回りは緩やかな上昇基調となりました。

▸ ポートフォリオについて (2025年３月４日から2026年３月２日まで)

残存１年３ヵ月までの円建ての公社債および短期金融商品で構築したポートフォリオを維持し、利子等の安定した収益の確保を目指して運用を行いました。

▸ ベンチマークとの差異について (2025年３月４日から2026年３月２日まで)

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

❷ 今後の運用方針

2025年12月に日銀が政策金利の誘導目標を0.75％へ引き上げ、その後も追加利上げの姿勢を維持していることから、短期ゾーンの利回りは上昇基調での推移を予想します。

引き続き残存１年３ヵ月までの円建ての公社債および短期金融商品で構築したポートフォリオを維持し、利子等の安定した収益の確保を目指して運用を行います。

1万口当たりの費用明細(2025年３月４日から2026年３月２日まで)

当期中における記載すべき項目はありません。

当期中の売買及び取引の状況(2025年３月４日から2026年３月２日まで)

公社債

		買付額	売付額
		千円	千円
国内	国債証券	4,569,140	－ (4,581,400)

※金額は受渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)
※( )内は償還等による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

利害関係人との取引状況等(2025年３月４日から2026年３月２日まで)

当期中における利害関係人との取引等はありません。
※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第１項に規定される利害関係人です。

第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況(2025年３月４日から2026年３月２日まで)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

組入れ資産の明細(2026年３月２日現在)

公社債

A　債券種類別開示

国内(邦貨建)公社債

区分	期末						
	額面金額	評価額	組入比率	うちBB格以下組入比率	残存期間別組入比率		
					５年以上	２年以上	２年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国債証券	1,179,000	1,177,024	97.2	－	－	－	97.2
	(1,143,000)	(1,141,161)	(94.2)	(－)	(－)	(－)	(94.2)
合計	1,179,000	1,177,024	97.2	－	－	－	97.2
	(1,143,000)	(1,141,161)	(94.2)	(－)	(－)	(－)	(94.2)

※( )内は非上場債で内書きです。
※組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

B　個別銘柄開示
国内(邦貨建)公社債

種類	銘柄	期末			
		利率	額面金額	評価額	償還年月日
		%	千円	千円	
国債証券	342 10年国債	0.1000	12,000	11,996	2026/03/20
	1362国庫短期証券	－	1,132,000	1,130,187	2026/05/18
	148 5年国債	0.0050	11,000	10,973	2026/06/20
	344 10年国債	0.1000	12,000	11,948	2026/09/20
	345 10年国債	0.1000	12,000	11,917	2026/12/20
小計		－	1,179,000	1,177,024	－
合計		－	1,179,000	1,177,024	－

投資信託財産の構成

(2026年3月2日現在)

項目	期末	
	評価額	比率
	千円	%
公社債	1,177,024	97.2
コール・ローン等、その他	34,192	2.8
投資信託財産総額	1,211,216	100.0

資産、負債、元本及び基準価額の状況

（2026年３月２日現在）

項目	期末
(A) 資産	1,211,216,377円
コール・ローン等	34,179,486
公社債(評価額)	1,177,024,078
未収利息	12,584
前払費用	229
(B) 純資産総額(A)	1,211,216,377
元本	1,207,872,716
次期繰越損益金	3,343,661
(C) 受益権総口数	1,207,872,716口
１万口当たり基準価額(B/C)	10,028円

※当期における期首元本額1,207,872,716円、期中追加設定元本額0円、期中一部解約元本額0円です。

※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の６第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

※期末における元本の内訳は以下の通りです。

高成長インド・中型株式ファンド	17,711,132円
アジア好利回りリート・ファンド	99,971円
三井住友・ピムコ・ストラテジック・インカムファンド(為替ヘッジあり/年1回決算型)	7,742,960円
三井住友・ピムコ・ストラテジック・インカムファンド(為替ヘッジなし/年1回決算型)	1,337,053円
三井住友・ピムコ・ストラテジック・インカムファンド(為替ヘッジあり/3カ月決算型)	4,909,194円
三井住友・ピムコ・ストラテジック・インカムファンド(為替ヘッジなし/3カ月決算型)	1,456,790円
日興ブラックロック・ハイ・クオリティ・アロケーション・ファンド(為替ヘッジなし)	14,208,735円
日興ブラックロック・ハイ・クオリティ・アロケーション・ファンド(限定為替ヘッジ)	1,237,272円
アジア好利回りリート・ファンド（年１回決算型）	997円
グローバル自動運転関連株式ファンド（為替ヘッジあり）	4,140,881円
グローバル自動運転関連株式ファンド（為替ヘッジなし）	11,065,647円
グローイング・フロンティア株式ファンド	2,185,185円
高成長インド・中型株式ファンド（年１回決算型）	7,882,655円
フォントベル・世界割安債券ファンド(為替ヘッジあり/年1回決算型)	20,035円
フォントベル・世界割安債券ファンド(為替ヘッジなし/年1回決算型)	20,035円
フォントベル・世界割安債券ファンド(為替ヘッジあり/年4回決算型)	20,035円
フォントベル・世界割安債券ファンド(為替ヘッジなし/年4回決算型)	20,035円
トータルヘッジ用ファンドMUT１号<適格機関投資家限定>	1,133,814,104円

※上記表中の受益権総口数および１万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の６第７号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

損益の状況

（自2025年３月４日　至2026年３月２日）

項目	当期
(A) 配当等収益	4,938,181円
受取利息	4,938,181
(B) 有価証券売買損益	△ 43,213
売買益	159,214
売買損	△ 202,427
(C) 当期損益金(A+B)	4,894,968
(D) 前期繰越損益金	△1,551,307
(E) 合計(C+D)	3,343,661
次期繰越損益金(E)	3,343,661

※有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

お知らせ

＜約款変更について＞

・投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、記載変更を行うため、信託約款に所要の変更を行いました。（適用日：2025年４月１日）